

開催案内 (日本語版)  
First circular

第9回植物の嫌気応答に関する国際会議  
9<sup>th</sup> Conference of the International  
Society for Plant Anaerobiosis  
(ISPA)

-作物と野生植物の冠水適応生物学-  
-Molecular, Physiological and Ecological Adaptations to  
Flooded Conditions by Crops and Native Plants-

2007年11月19～23日  
宮城県 宮城郡松島町

第9回植物の嫌気応答に関する国際会議 (ISPA) を2007年11月19～23日に宮城県宮城郡松島町で開催いたします。この会議で、低酸素条件における植物の生育に関わる研究者が旧交を暖め、新たな親交を深めていただければと存じます。日本 ISPA 組織委員会は、本会議を通じて、この分野の研究の発展を図るために、科学と学術における相互協力関係を促進したいと考えております。日本語版のホームページは <http://ispa-japan.miyakyo-u.ac.jp/> にあります。ご参照下さい。

### 1) ISPA の概要

植物の嫌気応答に関する国際会議 (ISPA) は、土壌の湛水、冠水、宇宙飛行、組織内への浸透、貯蔵環境及び生産物の包装など、広範な場面で生ずる通気障害に対して、植物が引き起こす反応に興味を持つ研究者の集まりです。湛水や冠水は、多くの植物生態系においては、主要な環境ストレスとなっています。即ち、これらは自然湿地を特徴づけるものであり、一方ではコメの大きな生産性を支えているものであり、また他方では、多くの農業生産体系において生産性を低下させる要因となっています。研究対象となるのは、海洋、淡水や汽水沼沢、湿地、季節的に湛水や冠水が起こる陸上の生態系 (作物や農業耕作地を含む) で生活する植物です。ISPA の会員は、これらの植物の研究を、生態学、生態生理学、植物個体及び細胞生理学、生化学、分子生物学、及び遺伝学など生物の多くの水準で研究しています。ISPA に関する詳細は、<http://utenti.tripod.it/sifv/ispa/> をご覧ください。

### 2) 会議の目的

今回の会議の開催に当たり、日本の組織委員会は、関連分野の第一線で活躍している ISPA の会員以外の研究者にも広く参加いただくため、「作物と野生植物の冠水適応生物学」を副題として付けました。また、今回の会議が日本で開催されることで、水稻や作物など農学研究者を始め、多岐にわたる植物の嫌気応答に興味を持つ、多くのアジアの研究者が参加できる機会となることを期待しています。さらに、関連分野で研究する全ての日本の研究者についても、学術情報の交換を促進するとともに、海外の研究者と新たな連携関係を構築する機会になることを期待しています。

### 3) 内容

プログラムの詳細は未定ですが、下記の内容を検討中です。

- ・嫌気代謝：生化学的及び分子生物学的理解

- ・嫌気阻害と回復
- ・O<sub>2</sub> 欠乏にある植物の情報伝達経路
- ・根の外部形態及び内部形態
- ・イネの生産に関する農業研究
- ・塩害と湛水害の相互作用
- ・作物の耐湿性の遺伝的改良
- ・沼沢生態学及び野生植物の生態生理学
- ・湛水条件下の雑草
- ・土壌肥料学及び生物学
- ・宇宙飛行における植物
- ・貯蔵条件及び生産物の包装
- ・その他、この学会で発表される論文の課題から

#### 4) プログラム

プログラムは招待講演、口頭発表及びポスター発表で構成します（口頭発表者は、口頭発表を希望される方の要旨を参考にして、組織委員会が選抜させていただきます）。会場はひとつとし、他と同時進行するセッションを設けません。会場の関係から、参加者数は150名以下（先着順）とします。懇親会の実施を予定しています。なお、この会議は *Annals of Botany* の支援を受けて実施され、主要な講演内容は、同誌の特別号に論文として出版される見込みです。

#### 5) 若手研究者の参加奨励

参加を支援するため、若手研究者の旅費の一部を補助する予定です。詳細は 2nd circular でお知らせいたします。

#### 6) Second circular

予備登録された方には2006年8月までに2nd circular を電子メールでお届けいたします。

#### 7) 開催場所

会議の全てのプログラムは、宮城県松島町（仙台からJR仙石線の快速で25分、普通で35分、松島海岸駅で下車、送迎バスで数分、徒歩15分）のホテル大観荘で実施します。ホテルのホームページは: <http://taikanso.co.jp/> をご覧下さい。

#### 8) 後援学会

##### ・根研究会

根研究会は、会議のひとつのセッションをオーガナイズします。

セッションオーガナイザー：阿部 淳氏

- ・日本作物学会
- ・日本植物学会 ほか

○日本 ISPA 組織委員会：石澤公明（委員長：宮城教育大学）、小柳敦史（作物研究所）、中園幹生（東京大学）、吉岡俊人（福井県立大学）、渡邊 肇（東北大学）、間野吉郎（畜産草地研究所）、島村 聡（作物研究所）

○国際アドバイザー：R. G. Ratcliffe （オックスフォード大学）

○問い合わせ先：

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149 宮城教育大学教育学部 石澤

公明 e-mail:kimiharu@staff.miyakyo-u.ac.jp, 電話：022-214-3425, FAX：

022-211-5791

○予備登録には、次ページの予備登録申込書をコピーしてお使いください。

## 第9回植物の嫌気応答に関する国際会議 (ISPA) 予備登録申込書

- [ ] 2nd circular の配布を希望する
- [ ] 口頭発表又はポスター発表を希望する

仮の発表演題を英語でご記入ください。

.....  
ご研究内容を表す英語のキーワードを三つお書きください。

.....  
ご氏名、所属、住所を英語と日本語でお書きください。

Family name: .....

First name: .....

Title: .....

Address: .....

Fax: .....

E-mail: .....

氏名 : .....

所属 : .....

住所 : .....

申込先 : 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149  
官城教育大学教育学部 石澤公明  
email:kimiharu@staff.miyakyo-u.ac.jp,  
電話 : 022-214-3425 FAX : 022-211-5791